

新 LIFE 開始による移行について

2024 年 8 月より、LIFE の新システムから各加算のためのデータをアップロードすることができます。

新仕様に伴い、必須項目やデータ形式に変更のある部分もございます。「レコセラ」では必要な機能を順次実装するとともに、新システム実装前に進めていただけるデータ入力作業についてご案内させていただきます。

■病名コードの変更について

この度、【既往歴・現病歴】にて入力していただいていた【ICD10 コード】が【**傷病名コード**】に変更となりました。

この変更を受け、「レコセラ」内で傷病名コードを検索していただけるボタンを設置いたしました。現在 ICD10 をご入力いただいているエリアについて、順次書き換えの作業をお願いいたします。

The screenshot shows a software interface with a top navigation bar containing tabs: 情報, パターン, ケア項目, 目標設定, 医療情報, 居宅環境, and 薬情報. Below this is a grid of data entry fields. The '既往歴 & 現病歴' (Past History & Current Illness) section is highlighted in green. Within this section, there is a search bar labeled '傷病名コード' (Injury/Disease Name Code) and a '保存' (Save) button. Other fields in the grid include '日常生活自立度', '合併疾患・コントロール状態', '原因疾病', '誤嚥性肺炎の発症歴', '褥瘡の有無', '認知症の診断', '直近の入退院日', '医師等からの指示情報【医学的リスク】', 'かかりつけ医【主治医】', 'かかりつけ歯科医', 'リハビリテーション 該当項目', and '薬情報'.

検索は、ICD10 を使って行うこともできます。

- ① 【傷病名コード】 ボタンを押す
- ② Ctrl+F キーで検索ボックスを開く
- ③ ICD10 コードまたは病名を入力して検索

※病名は完全一致ではなく部分一致を目指してキーワードを検索すると、目的の欄を見つけやすいです。

※検索にかかるはずのものがヒットしない場合は、検索欄で前後にスペースが入ってしまっていないかお確かめください。

※病名に対し適切でない場合は病名から再検索するか、内容が近い場合は数字 2 桁まで (M15.9 などの場合 M15 まで) を入力すると、似たものが見つかる場合もございます。

《原因疾病として病名コードの記入が必要になる加算》

- ・ 科学的介護推進体制加算
- ・ 個別機能訓練加算 (Ⅱ)
- ・ リハビリテーションマネジメント加算 (通所リハのみ)

■新書式に移行する予定の加算について

改定の影響で変更が大きい計画書類に関しましては、旧書式を残す形で全く新しい書類画面を追加の上、目標設定・医療情報などで管理できる項目も追加される予定です。

新書式への再入力が必要になる以下の項目につきましては、

- ・新書式リリースまでの間メモとして現書式を使用する
- ・さかのぼり申請開始時期（8月）までお待ちいただく

いずれかのご対応をお願い申し上げます。

合併症	現在は病名を入れていますが、特定種類の合併症に該当するか否かを選択する形式に変わります。
ICF コード	コードと内容が変更されます。（現行のものよりシンプルになります）
社会参加の状況	テキストではなく ICF コードでの記入になる箇所がございます。
個別機能訓練計画書	計画書ごと、2024 年度版として新規の書式が追加されます。 利用者情報にて管理している介護度・自立度など基本情報に当たる部分は新書式にも引き続き反映されますが、まったくの新要素に関しては新書式実装後にご入力いただくこととなりますので、左記計画書は新 LIFE のデータ出力にはお使いいただけません。
通所リハビリテーション計画書	同上
口腔機能向上に関するサービス計画書	同上
生活・認知機能尺度	今回の改正で新しく追加された書式として、新規実装予定です。
ICF ステージング	同上

その他、詳細な変更点もございます。各加算・各書式ごとに8月に向けて現在実装を進めており、現時点でのお知らせはあくまで予定となっておりますので、予めご了承ください。

■日常生活自立度について

この度の改正で、ほとんどの書式が利用者情報として「日常生活自立度」の入力を求める仕様となりました。レコセラでは<医療情報>で一度設定することで、必要な書式にはすべて反映されますので、今一度ご確認とご入力を進めていただけますと幸いです。

※レコセラはデフォルト設定が「自立」のため、入力を行わないまま計画書作成や LIFE 読み込みを行うと、どんな方でも「自立」としてデータが作成されてしまいます。

The screenshot shows the Recosera system interface. At the top, there are tabs for '情報' (Information), 'パターン' (Pattern), 'ケア項目' (Care Items), '目標設定' (Goal Setting), '医療情報' (Medical Information), and '居宅環境' (Home Environment). Below these are various sub-tabs including '日常生活自立度', '既往歴&現病歴', '合併疾患・コントロール状態', '原因疾病', '誤嚥性肺炎の発症歴', '褥瘡の有無', '認知症の診断', and '直近の入退院日'. A search bar for '薬情報' (Medication Information) is also present. The main content area is titled '転記先 日常生活自立度' (Transfer Destination Daily Living Independence) and contains two dropdown menus. The first dropdown is labeled '障害高齢者の日常生活自立度' (Daily Living Independence of Disabled Elderly) and has 'J1' selected. The second dropdown is labeled '認知症高齢者の日常生活自立度' (Daily Living Independence of Elderly with Dementia) and has 'I' selected. A '保存' (Save) button is located in the top right corner of the main content area.

ご不明点やご不安な点がございましたら、担当連絡先や Q&A からお問い合わせください。
今後とも、介護記録システム「レコセラ」をよろしくお願いいたします。

株式会社スカイ

